

当面の病床機能転換等の一覧（那賀保健医療圏構想区域）

【資料 1－2】

No.	医療機関名	今後の役割・方向性 「2025年に向けた対応方針アンケート」より ※令和4年度実施	機能転換等の内容  (一般病床・療養病床)		転換等の時期  (見込)
1	医療法人殿田会 殿田胃腸肛門病院	【C】地域密着型 (軽症患者の救急受入れ、急性期病院からの転院受入れ、在宅復帰へ向けた医療など)	廃止	回復期病床 6 床を廃止  <廃止後の機能別病床数> 回復期 53 床 (▲6 床)	令和7年9月末

病床機能の転換・病床数の変更等について

現在の病床機能【概要】				
＜令和7年7月現在＞				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	稼働率
高度急性期				
急性期				
回復期	1	急性期一般入院料 6	59	33.51
慢性期				
計	1	－	59	－
(備考)				
稼働率は令和7年7月の { (在院患者延数) / (日数×病床数) } ×100で算出。				

現在の病床機能【詳細】
2階の回復期46床、3階の回復期13床 計59床を内視鏡手術、肛門手術の短期入院患者、在宅、老健、特養からの肺炎、脱水、熱中症などの急性期患者、癌終末期、脳血管障害後遺症患者などの慢性期患者で運用を行っているが、ここ数年の努力にもかかわらず稼働状況は好転せず、今後も病床運用が困難な状況である。

医療機関名 医療法人殿田会 殿田胃腸肛門病院

今後の病床機能				
＜令和7年10月以降＞				
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	(定員)
高度急性期				
急性期				
回復期	1	急性期一般入院料 6	53	
慢性期				
介護医療院				
計	1	－	53	
(機能転換・病床数変更等の概要)				
回復期病床6床の廃止				

機能転換・病床数変更後における病院・診療所のあり方
2階を回復期45床（特別室1室を浴室として利用）、3階を回復期8床 計53床とし、病床削減後も、これまでの患者層はもちろんのこと、訪問診療にも力を入れそこからの入院患者増加を図る。さらに、今後、需要の増加が見込まれる高齢者救急にも積極的に対応していく。
2